

【令和4年度】指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート

施設名	吹田市介護老人保健施設	所管部室課名	高齢福祉室
所在地	吹田市片山町2丁目13番25号	設置年月日	平成4年6月10日

1 施設の概要

(1)設置目的	病状が安定期にある要介護者に対し施設サービス計画に基づき、看護、医学的管理下での介護及び機能訓練等の必要な医療並びに日常生活上の世話をを行うことにより、高齢者の自立を支援し、在宅復帰を目指すことを目的とする。		
(2)規模、開館日等	【定員】 介護保健施設サービス 100人 短期入所療養介護 空床利用 通所リハビリテーション 月～土曜日40人、日曜日20人 訪問リハビリテーション 定員なし	【開館時間】 (1)介護保険施設サービス 年中無休 (2)短期入所療養介護 年中無休 (3)通所リハビリテーション 午前8時30分～午後5時30分。年末年始は除く。 (4)訪問リハビリテーション 平日午前9時～午後5時。年末年始は除く。	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	一般財団法人 吹田市介護老人保健施設事業団					
(2)指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者が行う業務内容	・介護保険施設サービス ・短期入所療養介護及び介護予防短期入所療養介護 ・通所リハビリテーション及び介護予防通所リハビリテーション ・訪問リハビリテーション及び介護予防訪問リハビリテーション					
(5)指定管理者の収支		令和3年度		令和4年度		
		計画	実施結果	計画	実施結果	
	収入	介護報酬等 (円)	567,937,143	512,523,841	572,928,416	523,292,621
		自主事業 (円)	554,000	2,257,094	554,000	1,669,292
		その他 (円)	1,270,000	3,957,040	520,000	25,252,994
		合計 (円)	569,761,143	518,737,975	574,002,416	550,214,907
	支出	管理経費 (円)	557,146,397	544,692,465	567,337,492	547,768,677
		自主事業 (円)	0	0	0	0
その他 (円)		6,408,600	767,190	6,499,400	584,561	
合計 (円)		563,554,997	545,459,655	573,836,892	548,353,238	
	収支差額 (円)	6,206,146	△ 26,721,680	165,524	1,861,669	

3 施設の利用状況

利用状況を示す指標	令和3年度		令和4年度	
	計画	実施結果	計画	実施結果
1 延べ在在所者数(長期・短期) (人)	33,580	32,123	33,580	31,724
2 1日平均在在所者数 (人)	92	88.00	92	86.93
3 通所1日平均利用者数(月～土) (人)	32	20.1	32	23.5
4 通所1日平均利用者数(日) (人)	12	0.0	12	0.0
5 訪問リハビリテーション延べ利用者数 (人)	243	211	246	215
6 在宅復帰率 (%)	60	27.4	60	22.8

4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	利用者アンケートの実施、利用者との日々の会話、送迎時等での家族への聞き取り、多職種の職員と利用者で行う定例会議で、ニーズを把握している。
(2)把握結果	サービスにおおむね満足する声をいただいている。 さらなるサービスの質の向上について、より細やかな声掛けや家族への状況報告があると良いという声があった。
(3)結果を受けての対応状況	役職者会議で共有・検討し、可能な限り対応している。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	施設の利用にあたり、医師、看護師、介護職員、理学療法士、作業療法士、支援相談員等の多職種で協議することで、専門分野における見地から利用の可否を決定している。
(2)施設の効用の発揮	利用者個々の心身の状態に応じた施設サービス計画に基づき、在宅復帰を目標としたサービス提供を行っている。リハビリ室に加え居室のベッドサイドでも訓練をできる環境を設定する、多床室を個室化対応できるよう環境整備を行う等、新型コロナウイルス感染症対策を強化し、安心して利用できる環境づくりに努めている。また、リハビリテーション環境や利用者満足度の向上を目的に先進運動機器を設置する等、機能向上を図っている。 また、介護保険事業だけでなく、実習、認知症啓発の事業を実施しており、人材育成や高齢福祉の向上にも寄与している。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	在宅復帰を実現するため、理学療法士、作業療法士を手厚く配置している。また、職員の能力向上として、事故や虐待防止といった一般的な研修から、認知症対策、新型コロナウイルス感染症予防といった専門的な研修まで、幅広い分野の研修を多数受講している。 財政面については、ペーパーレス化、一部の照明のLED化等の経費削減に加え、受取補助金による増収や人件費削減による支出の減額を行い黒字となったが、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による減収、光熱水費の高騰等の支出増加といった課題がある。
(4)施設の管理経費の縮減	データ管理によるペーパーレス化、一部の照明のLED化、節電の呼びかけ、3R等のエコを意識した物品購入を実施。
(5)その他	写真やオンライン機能を積極的に活用し、コロナ禍でも利用者や家族が安心してサービスを利用できる環境づくりに努めていた。また、行事開催時には衣装やBGMを用いた雰囲気作りや利用者参加型の行事の企画を行い、利用者同士の交流の促進や楽しみ作り貢献した。 また、地域連携・地域貢献事業にも注力しており、認知症カフェを屋外で実施したり、オンライン機能を活用した講座等を実施したりする等、コロナ禍でも近隣との繋がりを大切にしていた。

(6)総合評価	協定書等をおおむね遵守し、施設の管理運営を行っていた。 家族面会、研修、地域貢献事業におけるオンライン機能の活用等、コロナ禍でも可能な限り事業に取り組もうという姿勢が伺えた。 財政面では、黒字であったものの課題解決には至っていないため、サービス提供に支障を来さないよう、引き続き健全な財政での運営に努められたい。
---------	--